国スポの最近の動きについて

国民スポーツ大会は、地域の競技力向上やスポーツ環境の整備、各地域の活性化等に貢献するなど、我が国のスポーツ振興に大きな役割を果たしてきました。

一方で、開催地都道府県における人的・財政的な負担などの課題を踏まえ、国民スポーツ大会を「魅力ある持続可能な大会」とするため、日本スポーツ協会（JSPO：遠藤利明会長）の特別委員会として有識者会議を設置し、見直しの方向性について議論することとなった。

<会議について>

名称：今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議

開催時期：年度内に3巡目以降の国スポの方向性を出すことを目指し、3回程度開催。

（1回目：9月4日、2回目：11月20日、3回目：3月10日予定）

委員：全国知事会・全国市長会・全国町村会、経済界、宿泊・交通業界、スポーツ界、学識経験者等、幅広い分野から30名程度が参加。

<主な論点（全国知事会とも連携しながら検討を進める）>

- ・自治体の負担軽減
施設基準の緩和・弾力化、開・閉会式の簡素化、財政負担の在り方 等
- ・大会の開催時期及び開催期間の弾力化
通年開催、期間の延長 等
- ・開催地の柔軟な決定
単独開催、複数都道府県開催、ブロック開催 等
- ・都道府県対抗による総合成績・得点方法の見直し 等

今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議

有識者会議は、日本スポーツ協会（JSPO）が設置し、今後の国民スポーツ大会に向け、大会の在り方について検討・協議し、JSPO理事会に提言するもの。

	区分	氏名	所属・役職等
I	自治体	阿部 守一 下鶴 隆央 田島 健一	長野県知事（全国知事会） 鹿児島市長（全国市長会） 佐賀県白石町長（全国町村会）
II	自治体関係	細田 真由美 勝嶋 憲子	前さいたま市教育長 東京都立富士高等学校 東京都立富士高等学校附属中学校 統括校長（全国高等学校長協会）
III	スポーツ統括団体	三屋 裕子 森 和之	日本オリンピック委員会 副会長 日本パラスポーツ協会 会長
IV	スポーツ関係者	上村 春樹 田嶋 幸三 原 晋 増田 明美 原田 雅彦 高田 春奈 諸橋 寛子 田川 博己 藤原 誠	講道館 館長 日本サッカー協会 名誉会長 青山学院大学 陸上競技部 監督 日本パラ陸上競技連盟 会長 全日本スキー連盟 副会長 日本女子プロサッカーリーグ チェア UNITED SPORTS FOUNDATION 代表理事 JTB 相談役 東京国立博物館 館長
V	アスリート	平野 早矢香 皆川 賢太郎 岡崎 朋美 田中 雅美 谷 真海	

	区分	氏名	所属・役職等
VI	スポーツ政策 (大学)	鈴木 寛 友添 秀則 高橋 義雄	東京大学大学院 教授、 慶應義塾大学大学院 教授 日本学校体育研究連合会 会長、 環太平洋大学 教授 早稲田大学 教授
VII	マスコミ	二宮 清純 結城 和香子 吉本 有里	スポーツジャーナリスト 読売新聞社 編集委員 日本放送協会
VIII	経済界	小林 健 増田 寛也 伊藤 敦子 高橋 美江	日本商工会議所 会頭 日本郵政 取締役兼代表執行役社長 東日本旅客鉄道 常務取締役 グループ経営戦略本部長 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会 女性経営者の会 会長
IX	その他	遠山 友寛 奥山 清行 渡邊 一利	TMI総合法律事務所 弁護士 KEN OKUYAMA DESIGN CEO 笹川スポーツ財団 理事長

※肩書きは2024年9月4日時点

計 34名

【オブザーバー】

総務省、経済産業省、文化庁、観光庁、スポーツ庁、日本スポーツ振興センター